



～ これからの住まいと人を考える ～

「不動産の日」ふれ愛講演会



日 時 平成27年9月23日（水・祝）

場 所 ANAクラウンプラザホテル金沢 3階「鳳」
金沢市昭和町16番3号

ハトマークグループ 10年後の理想の姿

私たち、ハトマークグループは、
みんなを笑顔にするために、
地域に寄り添い、生活サポートの
パートナーになることを
目指します。

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会

～ 本日は、「不動産の日」ふれ愛講演会にご来場下さり、誠にありがとうございます。～



平成27年度「不動産の日」ふれ愛講演会プログラム

13:00 開演の挨拶

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会 会長 吉本 重昭

13:10 第5回ハトマーク賞児童画コンクール表彰式

* * * * * (休 憩) * * * * *

13:30 講 演 『2つの老い ～住まい・人～』

横浜市立大学国際総合科学部教授 齊藤広子 氏

* * * * * (休 憩) * * * * *

14:35 講 演 『菊地幸夫流 人とのつながり方』

番町法律事務所 弁護士 菊地 幸夫 氏

16:00 閉 演



▶ 13:00 開演の挨拶

公益社団法人石川県宅地建物取引業協会 会長
公益社団法人全国宅地建物取引業保証協会石川本部 本部長

よしもと しげあき

吉本 重昭



本日は、『平成 27 年度「不動産の日」ふれ愛講演会』にご来場下さり、誠にありがとうございます。

我々、公益社団法人石川県宅地建物取引業協会(略称:石川県宅建協会)は、昭和 42 年 3 月に設立、同年 12 月に「宅地建物取引業法第 74 条」に基づき、社団法人として石川県の認可を受けた宅地建物取引業者団体でございます。

設立以来、ハトマークの会員店とともに宅地建物取引業の健全な発展を通じ、消費者の皆様へ安全で安心な取引環境を提供し、良きパートナーであるべく鋭意努めて参りました。その努力が認められ、平成 25 年 4 月 1 日には「公益社団法人」としての認定を受け、その社会的使命を噛み締めつつ公益目的の更なる実現のため日々取り組んでおります。

その中で、本日の『「不動産の日」ふれ愛講演会』は、本年度で 7 回目を迎え、毎年、多くの皆様にご来場頂いております。

この「不動産の日」は、「2(ふ)10(どう)3(さん)」の語呂合わせを用い、昭和 59 年に我々、全国 47 都道府県宅建協会の連合組織である公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会が、春に次いで人事異動や引越など業界が活気づく 9 月のこの日を「不動産の日」として制定しました。「不動産の日」には、地域で「不動産フェア」など様々なイベントが催されており、消費者の皆様へ取引制度や取引に必要な知識に気軽に触れて頂く機会としてご提供させて頂いているものです。

さて、昨今の社会情勢を見てみると、人口動態の変化等により、全国的に空き家が増加し、老朽化した空き家の倒壊リスクや、無人のため火災の発生や犯罪の温床となる恐れがあるなど保安・防犯上の問題、立木や雑草の繁茂、ゴミの放置など管理がなされていないことによる景観上の問題等、地域住民の生活を脅かす様々な問題が取り沙汰されております。

平成 25 年に総務省が実施した「住宅・土地統計調査」によると、石川県内では、約 52 万戸あると言われる住宅のうち、空き家とされるものが約 7 万 7,000 戸、そのうち放置され適切な管理がなされていない空き家が約 3 万 6,000 戸あるとされています。前回調査(平成 20 年)から見ると住宅の総数が 4.5%増加しているのに対し、空き家の増加率は 5.8%と、それを上回る勢いで増加しており、喫緊の課題となっております。

これらの状況を鑑み、国では、平成 26 年 11 月 19 日に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」を制定し、平成 27 年 2 月 26 日に一部施行、同年 5 月 26 日から全面施行されました。

県民の住生活・住環境の向上と住みよいまちづくりを目指すハトマークの石川県宅建協会でも、石川県からの要請を受け、国が実施する空き家の適正管理等基盤強化推進事業に参画し、専門家団体等との連携の下、平成 27 年 8 月 1 日より「空き家の総合相談窓口」開設して、空き家所有者や地域住民の皆様からの相談を受け付ける体制を構築しましたので、是非ご活用頂ければと存じます。

また、毎週水曜日には、取引制度に関する質問から契約トラブルまで、不動産取引に関するご相談をお受けする「不動産無料相談」も実施しておりますので、そちらも併せてご活用下さい。

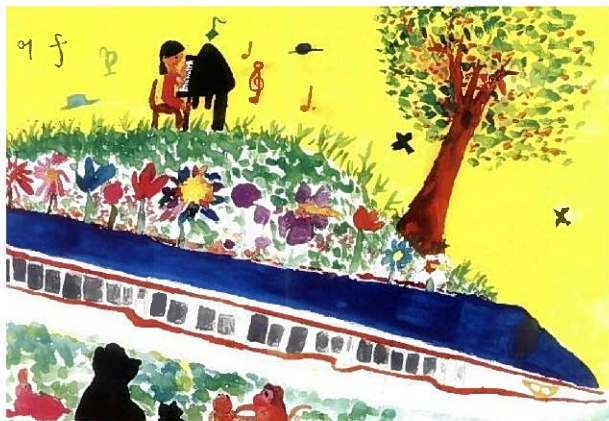
本日の講演会をお楽しみ頂きながら、この機会に石川県宅建協会にも触れて頂ければ、これほど嬉しいことはございません。

それでは、皆様、本日はごゆっくりお楽しみ下さい。

▶ 13:10頃 第5回ハトマーク賞児童画コンクール 表彰式

テーマ：「北陸新幹線とぼくたち（わたしたち）のまち」

【 石川県知事賞 受賞3作品 】

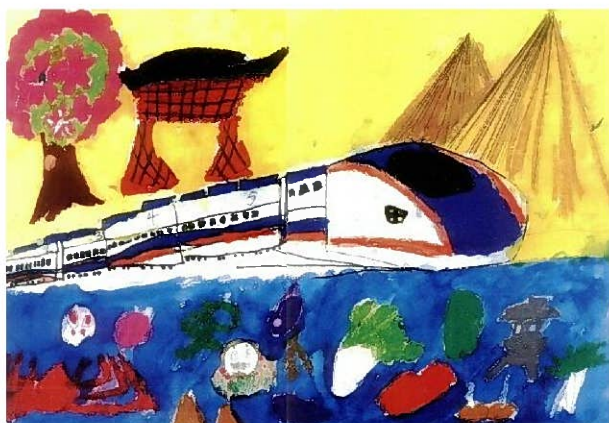


七尾市立東湊小学校
3年 岩崎瑞生 さん

「新幹線でピアノコンサート」

【特別審査員：評】

新幹線のリズムカルな走行音とピアノのリズムの協調、それに対して新幹線のまっすぐ伸びた様と動植物の柔らかい様の対比が非常に良い雰囲気醸し出している秀逸な作品です。また、新幹線に加えて、本作品は、児童本人が主役となっているところも評価しました。



金沢市立新神田小学校
2年2組 井村桜太 さん

「大好きな金沢を走る新幹線」

【特別審査員：評】

金沢駅の鼓門、兼六園の桜や雪吊り、多くの加賀野菜など、金沢の景勝地や特産物の特徴を良く捉え、いずれも丁寧に描かれており、その中を北陸新幹線が颯爽と走る、まさに今の石川県の豊かさを表している作品といえるでしょう。



金沢市立十一屋小学校
1年3組 上濱康輝 さん

「新幹線とぼくたちのまち」

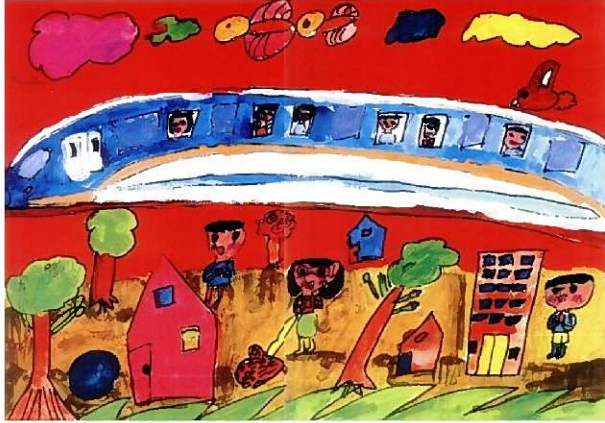
【特別審査員：評】

そのまま北陸新幹線の啓発ポスターとして使えるような素晴らしい作品です。

2時間28分で結ばれた金沢⇄東京間を、一枚の画用紙に同次元で表現し、東京から長野を經由して新幹線がぼくたちのまちにやってきたという喜びが非常に良く伝わる作品です。



【 ハトマーク賞 受賞3作品 】



金沢市立米丸小学校
3年2組 河崎祐希奈 さん

「大きな新幹線」

【特別審査員:評】

今にも画用紙からはみ出しそうな躍動感のある作品です。街中を駆け抜ける新幹線のスピード感が大変良く表現出来ており、「ビューン」という走行音が聞こえてきそうです。加えて、本作品の優れている点は、独特な色使いです。この色使いがその躍動感を引き立てています。また、テーマに沿って「まち」との関係が非常に良く描けています。



七尾市立東湊小学校
2年 山本明日翔 さん

「新緑を走るぞ!!新幹線」

【特別審査員:評】

目を見張ったのは、この瞬間、この部分を切り取った眼力に脱帽です。この情景を切り取ることは中々出来ないことです。

新緑を表現するための細かい色使いもさることながら、絵筆の跡により景色の流れていく様が上手に表現されており、新幹線の疾走感と新緑の爽快感が心地よい作品です。



金沢市立小立野小学校
1年3組 木下雄介 さん

「北陸新幹線がもうちょっとで金沢駅に到着するよ!!」

【特別審査員:評】

新幹線が非常に細かく描かれていることに加え、高架やその下を走る道路など描くことの難しい街を形づくる土木構造物に着眼点を置き、その上を走る新幹線を描いた唯一の作品です。また、赤・青の信号の灯火が発光している様子等も上手に表現できています。



▶ 13:30頃 講演『2つの老い ～住まい・人～』

▶ プロフィール

横浜市立大学 国際総合科学部
まちづくりコース 不動産マネジメント論
教授（工学博士、学術博士、不動産学博士）

さいとう ひろこ

齊藤 広子

《主な著書》

- 『住環境マネジメント-住宅地の価値をつくる』（学芸出版社）
- 『住まい・建築のための不動産学入門』（共著、市ヶ谷出版社）
- 『不動産学部で学ぶマンション管理』（鹿島出版会）

など多数



＜学歴・経歴＞

大阪生まれ。

筑波大学第3学群社会工学類都市計画専攻卒業。

不動産会社勤務を経て、大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了。

英国ケンブリッジ大学土地経済学部客員研究員、明海大学不動産学部教授を経て、2015年より現職。

社会資本審議会委員、マンション長寿化協議会座長、住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会会長などを歴任。

＜受賞＞

- 日本マンション学会研究奨励賞
- 都市住宅学会論文賞
- 日本不動産学会業績賞
- 日本不動産学会著作賞
- 不動産協会優秀著作奨励賞
- 都市住宅学会著作賞
- 日本建築学会賞（論文）
- 都市住宅学会業績賞
- グッドデザイン賞
- 不動産学会著作賞等受賞。



▶ 14:35頃 講演『菊地幸夫流 人とのつながり方』

▶ 講師プロフィール

番町法律事務所

弁護士（第二東京弁護士会）

きくち ゆきお

菊地 幸夫



《主な著書》

- 『こんなときどうする—夫婦と親子の法律相談、同 2』（共著、三協法規出版）
- 『こんなときどうする—土地と建物の法律相談』（共著、三協法規出版）
- 『医療過誤と訴訟—その実態と対策 Q&A』（共著、三協法規出版）
- 『学校事故と訴訟 Q&A』（共著、三協法規出版）
- 『守られる権利 守るべき法律』（共著、三協法規出版）

《主なテレビ出演》

- 日本テレビ「行列のできる法律相談所」（2007年7月～）
- 日本テレビ「スッキリ!!」（2011年4月～）

＜学歴・経歴＞

中央大学法学部法律学科 卒業

卒業後、弁護士登録（第二東京弁護士会）。番町法律事務所。

元司法研修所刑事弁護教官。

現在、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事も務める。

また、日本テレビ「行列のできる法律相談所」及び「スッキリ!!」にレギュラーとして出演。2013 年末には、「スッキリ!!」の司会者加藤浩次氏とともにギネス世界記録を樹立。

＜官公署関係＞

2003年1月12日 最高裁判所司法研修所 刑事弁護教官（至2006年1月13日）

2008年4月 1日 社会福祉法人練馬区社会福祉事業団 理事（～現在）

＜趣味＞

バレーボール ……現在地元小学校女子バレーボールチームとPTAチームの監督を務める。

元日本バレーボール協会B級公認審判員。

2006年4月～7月、Vリーグ将来ビジョン検討委員会委員。

トライアスロン……宮古島、佐渡、珠洲など各地の大会に出場。

過去50レース以上に出場。弁護士業務の傍ら、水泳やジョギング等で体力作りに勤しんでいる。

＜主な講演テーマ＞

「出会いの人生から学んだこと」、「菊地流・魅力的人生のススメ」、「消費者問題の実態」、「身近な法律問題」、「人権教育のあり方」、「子供への教え方」、「ワークライフバランス～仕事も家庭も一生懸命～」

本日は、ご来場下さり、誠にありがとうございました。
今後ともハトマークの会員店と石川県宅建協会を
よろしくお願い申し上げます。



～ 後 援 ～

国土交通省

石 川 県

公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会

ハトまるくん



「お豆」と「物件検索」をこよなく愛する石川県宅建協会の
マスコットキャラクター。

豆好きが請じて、大豆田本町に住んでいる。

博士帽と緑色の蝶ネクタイ・大きな虫眼鏡がトレードマーク。

ちなみに「オス（男の子）」です。

〒921-8047 石川県金沢市大豆田本町口 46-8
公益社団法人石川県宅地建物取引業協会
TEL:076-291-2255 / FAX:076-291-1118
URL:<http://www.takken-ishikawa.or.jp>